

Working Folder[®]

複合機連携 セットアップガイド

このマニュアルは、富士ゼロックス株式会社が過去に販売した次の機種にも適合する Working Folder の説明を含みます。
適合機種名：

弊社の公式サイトを参照してください。

- ・日本で Working Folder を契約した場合
<https://www.fujifilm.com/fb/product/software/workingfolder/device.html>
- ・日本以外の国で Working Folder を契約した場合
<https://www.fujifilm.com/fb/en/Products/SG-Software-Products/Working-Folder>

このマニュアルは富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

本書の表記、商標については、『ユーザーガイド』を参照してください。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

Step1: 機械の確認 (グループ A ~ E)

複合機が Working Folder 複合機連携機能を使用できる条件を満たしているか、確認します。条件を満たしていない場合は、弊社の営業担当者またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

ハードディスクとメモリーの確認 (グループ A、B)

1. 複合機の操作パネルで〈機械確認 (メーター確認)〉ボタンを押して、[機械状態レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
2. [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることを確認します。
3. グループ A とグループ B の場合は、[システムメモリーサイズ] の値が次であることを確認します。
 - グループ A : 1536 MB 以上
 - グループ B : 2048 MB 以上
4. [閉じる] を押します。
5. [閉じる] を押します。

外部アクセスキットの確認 (グループ A のみ)

1. 機械管理者モードにログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。
3. [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示されていることを確認します。
4. [閉じる] を押します。

Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定 (グループ B ~ D)

お使いの複合機の [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示される場合は、ソフトウェアオプションのパスワードがすでに設定されています。「Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)」(P.4) の手順に進んでください。

1. 機械管理者モードにログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。
3. [仕様設定] > [共通設定] > [保守] を選択します。
4. [ソフトウェアオプションの設定] を選択します。
5. キーボードを使用して、「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」の「パスワード」列に記載されたパスワードを入力します。
6. [再起動] を押します。



補足

再起動したあとに Working Folder のアイコンが表示されても、「Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)」(P.4) を必ず実施してください。実施しないと、Working Folder が正常に動作しないことがあります。

Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)

Working Folder 複合機連携機能を使用するために、「SOAP ポート」(P.4) ~ 「プラグイン設定 (グループ C とグループ D でシングルサインオン機能を使用する場合)」(P.8) で説明する内容を設定します。



- ・「Working Folder 複合機連携機能対応機種一覧」の「[相手サーバーの証明書の検証] の初期状態」が「無効」の場合、次を実施してください。
- ・より安全な通信のために、[相手サーバーの証明書の検証] の「[有効] チェックボックスをチェックし、Working Folder の CA 証明書をインポートしてください。CA 証明書のインポート方法については、複合機の「セキュリティ機能補足ガイド」を参照してください。

日本で Working Folder を契約した場合、CA 証明書の入手方法については、次の URL を参照してください。

<https://www.fujifilm.com/fb/support/service/workingfolder/answer/answer403.html#q57>

日本以外の国で Working Folder を契約した場合は、次にお問い合わせください。

FUJIFILM Business Innovation Customer Support Centre Technical Support

- ・Working Folder の他にも SSL/TLS 通信を行う機能やサービスをお使いの場合、各機能やサービスに必要な証明書も併せてインポートする必要があります。接続先を自分で設定する機能の場合は、接続先サーバーの管理者から、必要な証明書を入手してインポートしてください。弊社または外部のサーバーに接続するサービスの場合は、各サービスのマニュアルを参照してください。

SOAP ポート

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を押します。
3. [SOAP- ポート] > [起動] を押します。
4. [SOAP- ポート番号] > [80] を設定します。
5. [OK] を押します。
6. ホームボタンを押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. 機械管理者モードでログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を押します。
3. [確認 / 変更] を押して、次の項目を設定します。
 - [SOAP- ポート] : [起動]
 - [SOAP- ポート番号] : [80]
4. [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5. [閉じる] を押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

プロトコル設定

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定します。
3. [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] を押します。
4. [IPv4 - DNS 設定] または [IPv6 - DNS 設定] を押します。
5. [DHCP からのアドレス取得] > [しない] を押します。
6. [DNS サーバーアドレス 1] にお使いの DNS サーバーを指定します。
7. [OK] を押します。
8. ホームボタンを押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. 機械管理者モードでログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定します。



[仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定 (グループ B ~ D)」(P.3) の 1 ~ 3 を実行してください。

3. [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、[IPv4-DNS 設定] または [IPv6-DNS 設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
4. [TCP/IP- ネットワーク設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。次の項目を設定します。
 - [DHCP からのアドレス取得] : [しない]
 - [DNS サーバーアドレス] : お使いの DNS サーバーアドレス
5. [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
6. [閉じる] を押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

プロキシサーバー設定

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、HTTPS 環境で複合機を使用するための項目を設定します。
3. [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] を押します。
4. [プロキシを使用しないアドレス] に「localhost」と入力します。



複合機連携機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

5. [OK] を押します。
6. ホームボタンを押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、HTTPS 環境で複合機を使用するための項目を設定します。



- ・ [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定 (グループ B ~ D)」(P.3) の 1 ~ 3 を実行してください。
- ・ ユーザー認証が必要なプロキシサーバーを経由する環境では、機械から Working Folder サービスをご利用できない場合があります。

3. [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で [プロキシを使用しないアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
4. 「localhost」と入力し、[決定] を押します。



複合機連携機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

5. [閉じる] を押します。
6. [閉じる] を押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

Web ブラウザー設定

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [アプリ設定] > [Web ブラウザー設定] を押します。
3. [外部アクセスバージョンの選択] で [V4] または [V5] を選択します。
4. [ファイルプリント機能の使用] にチェックマークを付けます。
5. [Cookie の使用] で [する] または [保存を確認する] を選択します。
6. ホームボタンを押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. 機械管理者モードでログインします。
2. メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [Web ブラウザー設定] で [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。



[仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定 (グループ B ~ D)」(P.3) の 1 ~ 3 を実行してください。

3. グループ A とグループ B の場合は [V4 (新バージョン)] を選択し、[決定] を押します。
グループ C とグループ D の場合は [V4] または [V5] を選択し、[決定] を押します。
4. [ファイルプリント機能の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
5. [する] を選択し、[決定] を押します。
6. [Cookie の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
7. [する] または、[保存を確認する] を選択し、[決定] を押します。
8. [TLS1.0 の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
9. [する] を選択し、[決定] を押します。
10. [閉じる] を押します。
11. [閉じる] を押します。
設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

プラグイン設定（グループ C とグループ D でシングルサインオン機能を使用する場合）

シングルサインオン機能とは、一度の認証操作で複合機と Working Folder の両方を利用できる機能です。弊社のクラウドサービス「ApeosWiz Cloud ODP」とFUJI XEROX「スキャン翻訳サービス」を利用している場合、認証情報を相互に利用できます。



参照

「弊社のクラウドサービスとの認証情報の相互利用」(P.14)

シングルサインオン機能を利用する場合は、プラグイン設定を有効にする必要があります。

1. [仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [共通設定] > [プラグイン設定] で [組み込みプラグイン機能] を選択して、[確認 / 変更] を押します。



補足

- ・ [仕様設定 / 登録] 画面を表示していない場合は、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B～D）」(P.3) の 1～3 を実行してください。
- ・ [プラグイン設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定が必要です。詳しくは、「Step2: ソフトウェアオプションのパスワード設定（グループ B～D）」(P.3) を参照してください。

2. [有効] を選択して、[決定] を押します。
3. [閉じる] を押します。
4. [閉じる] を押します。
5. 再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動します。

Step4: Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール (グループ A ~ C)

グループ C の場合、この手順はシングルサインオン機能を使用する場合だけが必要です。

インストール前の作業

複合機連携機能は、インストール時、またはアンインストール時に、ネットワークに接続されたコンピューターとご使用の複合機との間で SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。

SSL/TLS が有効になっていない場合は、FUJI XEROX CentreWare Internet Services で以下の設定をしてください。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの複合機の IP アドレスを入力し、<Enter> キーを押します。FUJI XEROX CentreWare Internet Services が起動します。



FUJI XEROX CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [証明書の設定] で、[自己証明書の作成] をクリックします。
4. [新しい設定を適用] をクリックします。
5. 設定が更新されて次の画面が表示されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
6. [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] で、[HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックマークを付けます。
7. [新しい設定を適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーに、複合機の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
9. 確認画面で [OK] をクリックすると、複合機が再起動し、設定した値が反映されます。

インストール

グループ C の場合

次に示す富士フイルム BI ダイレクトのサイトから Management Console をダウンロードして、インストールします。ログインには、Working Folder のユーザー ID とパスワードを使います。

https://direct-fb.fujifilm.com/ap1/dc/management_console/ja/dl/summary.jsp

グループ C 以外の場合

Working Folder 複合機連携設置ツールの動作環境の確認、およびツールのダウンロードは、次に示す弊社公式サイトから行ってください。

- 日本で Working Folder を契約した場合

<https://www.fujifilm.com/fb/download/service/workingfolder>

- 日本以外の国で Working Folder を契約した場合

<http://support-fb.fujifilm.com/>

[processDriverForm.do?ctry_code=SG&lang_code=en&d_lang=en&corp_pid=WFS&rts=null&model=Working+Folder&type_id=3&lang_list=en](http://support-fb.fujifilm.com/processDriverForm.do?ctry_code=SG&lang_code=en&d_lang=en&corp_pid=WFS&rts=null&model=Working+Folder&type_id=3&lang_list=en)



注記

日本語・英語・韓国語・中国語（繁体）・タイ語以外の Windows 上では、Working Folder 複合機連携設置ツールの動作は保証できません。



補足

- ・ Working Folder のトップページで、左側の「ダウンロード」から「関連ツール」を選択します。グループ A とグループ B の場合は、「複合機環境設定関連ツール」から「Working Folder 複合機連携設置ツール」を選択してください。グループ C の場合は、「複合機環境設定関連ツール」から「Working Folder 複合機連携設置ツール（シングルサインオン対応版）」を選択してください。
- ・ 複合機の操作中およびジョブ実行中はインストールできません。しばらく待ってからインストールしてください。
- ・ Working Folder 複合機連携設置ツールのインストール中は、複合機の操作パネルを使用できません。

1. お使いのコンピューターで、弊社ダウンロードページから Working Folder 複合機連携設置ツールをダウンロードします。

2. ダウンロードした圧縮ファイル（.zip）を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。



補足

[セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

3. [次へ] をクリックします。

4. Working Folder 複合機連携設置ツールをインストールする複合機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



補足

IPv4 の IP アドレスを入力してください。

例：192.0.2.1

5. 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

6. 次の画面が表示された場合は [上書き] を選択し、[次へ] をクリックします。
次の画面が表示されない場合は、手順 7 へ進みます。

7. [次へ] をクリックします。

8. [完了] をクリックします。



- ・完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。
- ・続けてほかの複合機に Working Folder 複合機連携設置ツールをインストールする場合は、[ほかの複合機にインストール] にチェックを付けて [完了] をクリックし、手順 3 ~ 8 を繰り返します。
- ・[複合機を再起動する] にチェックマークが付いている場合は、複合機が自動で再起動します。

インストール後の作業

「インストール前の作業」(P.9) で [HTTP - SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、無効に戻します。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの複合機の IP アドレスを入力し、<Enter> キーを押します。
FUJI XEROX CentreWare Internet Services が起動します。



FUJI XEROX CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] で、[HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] のチェックマークを外します。

4. [新しい設定を適用] をクリックします。

5. Web ブラウザーに、複合機の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。

6. 確認画面で [OK] をクリックすると、複合機が再起動し、設定した値が反映されます。

Step5: 結果の確認 (グループ A ~ E)

複合機の操作パネルに [Working Folder] ボタンが表示されることと、Working Folder へのログイン画面が表示されることを確認します。



- ・グループ A ~ D で [Working Folder] が表示されない場合は、「Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)」(P.4) に記載した内容に設定されているか確認してください。
- ・グループ E で [Working Folder] が表示されない場合は、「グループ E で [Working Folder] が表示されない場合の対処」(P.12) の手順を実施してください。
- ・FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種では、他のカスタムサービスを利用している場合やメニュー画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、[Working Folder] ボタンが表示されないことがあります。その場合は、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] で、[メニュー画面の機能配列] の設定を変更してください。詳しくは、お使いの複合機に同梱されている『管理者ガイド』を参照してください。
- ・本機の認証方式が [本体認証] または [外部認証] の場合は、認証モードに入ってからボタンを押してください。

1. 操作パネルディスプレイで [Working Folder] を押します。
2. Working Folder のログイン画面が表示されることを確認します。



ログイン画面が表示されない場合は、「Step3: 仕様設定 (グループ A ~ E)」(P.4) に記載した内容に設定されているか確認してください。

グループ E で [Working Folder] が表示されない場合の対処

■ FUJIFILM の機種

1. Internet Service を起動します。
2. [システム] > [プラグイン設定] > [組み込みプラグイン機能] にチェックマークを付けます。
3. [閉じる] をクリックします。
4. 複合機の操作パネルに [Working Folder] が表示されたか確認します。

■ FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

1. FUJI XEROX CentreWare Internet Services を起動します。
2. [システム] > [プラグイン設定] > [組み込みプラグイン機能] にチェックマークを付けます。
3. [閉じる] をクリックします。
4. 複合機の操作パネルに [Working Folder] が表示されたか確認します。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. FUJI XEROX CentreWare Internet Services を起動します。



FUJI XEROX CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [プラグイン / カスタムサービス設定] > [カスタムサービス] と操作すると表示される画面で、[カスタムサービス] の [有効] にチェックマークを付けます。
3. [新しい設定を適用] をクリックします。
4. [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [プラグイン / カスタムサービス設定] > [組み込みプラグイン機能] と操作すると表示される画面で、[組み込みプラグイン機能] の [有効] にチェックマークを付けます。
5. [新しい設定を適用] をクリックします。
6. 複合機の再起動を表示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
7. 確認画面で [OK] をクリックします。
複合機が再起動します。
8. 複合機の操作パネルに [Working Folder] が表示されたか確認します。

Step6: シングルサインオン機能の設定 (グループ C ~ E)

シングルサインオン機能を有効にするには、次の設定が必要です。

- 複合機の認証機能を有効にする
- Working Folder 複合機連携の管理メニューで [認証情報を保存] を有効にする

Working Folder 複合機連携の管理メニューは、機械管理者権限を持つユーザーだけが操作できます。

認証情報の記憶

Working Folder にログインするときに使用する認証情報を、複合機のユーザー情報と関連付けて記憶させます。

認証機能を利用している複合機で [認証情報を保存] を有効にすると、はじめて Working Folder にアクセスしたときに次のログイン画面が表示されます。このログイン画面で、入力したユーザー ID とパスワードを記憶する設定ができます。

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種

[次回から自動でログインする] を有効にすると、2 回目以降は、自動でログインできます。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

[記憶する] にチェックマークを付けると、2 回目以降、自動でログインできるようになります。

[ユーザー ID] だけを記憶した場合は、次のアクセス時にユーザー ID を省略してログインできます。なお、[パスワード] だけの記憶はできません。



- ・ 機械管理者権限を持ったユーザーが操作している場合は、2 回目以降も必ずログイン画面が表示されます。ユーザー ID とパスワードを記憶している場合は、入力済みの状態になります。
- ・ ユーザー ID だけを [記憶する] に設定して、2 回目以降のログイン画面でパスワードの認証に失敗すると、記憶したユーザー ID 情報が削除されます。この場合、ログインするには、ユーザー ID とパスワードの両方の入力が必要になります。

弊社のクラウドサービスとの認証情報の相互利用

認証機能を利用している複合機で [認証情報を保存] を有効にすると、弊社のクラウドサービス [ApeosWiz Cloud ODP] と [スキャン翻訳サービス] を利用している場合、次のように認証情報を相互に利用できます。

- 弊社のクラウドサービスを利用している複合機で [認証情報を保存] を有効にして認証情報が記憶されていれば、Working Folder に認証情報が記憶されていなくても、弊社のクラウドサービスの認証情報を利用してログインできます。その逆も可能です。
- 弊社のクラウドサービスで認証情報を記憶した場合、その認証情報を Working Folder も記憶します。
- Working Folder が記憶した認証情報を削除しても、弊社のクラウドサービスが記憶している認証情報は削除できません。

管理者メニューの設定手順

■ FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種


1. 機械管理者モードでログインします。
2. 複合機で Working Folder にログインします。
3. [管理メニュー] を押します。
4. 管理メニューで、次の操作をします。
 - [認証情報を保存] に有効にすると、ユーザーごとのログイン画面に [次回から自動でログインする] を表示します。
 - [認証時のユーザー ID の利用] を有効にすると、ログイン時にユーザー ID のログイン履歴を利用できるようになります。
 - [保存された認証情報をすべて削除] を押すと、保存されたすべてのユーザーの認証情報が削除されます。Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要です。
 - [次回から自動でログイン] を有効にすると、すべてのユーザーのログイン操作で有効になります。
5. 管理メニューを閉じます。

■ FUJI XEROX ApeosPort VI / FUJI XEROX DocuCentre VI 以前、およびその他の機種

1. 機械管理者モードにログインします。
2. メニュー画面で、[Working Folder] を押します。
ログイン画面が表示されます。
3. [管理メニュー] を押します。
4. 管理者メニュー画面で、次を設定します。

■ [認証情報を保存] 設定を変更する場合

1. 次のどちらかを選択します。

項目	内容
する	Working Folder のログイン画面に [記憶する] チェックボックスを表示します。ユーザーは、[記憶する] にチェックマークを付けると、次回 Working Folder へのアクセス時にユーザー ID の省略や自動ログインができます。
しない	Working Folder のログイン画面の [記憶する] チェックボックスを非表示にします。すべてのユーザーは、Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。  補足 ・ 弊社のクラウドサービスを利用している場合に [しない] を選択すると、それらのサービスとの連携が解除されるので、弊社のクラウドサービスでシングルサインオン機能を有効に設定していても、ログインの操作が必要になることがあります。

補足

[する] から [しない] に変更した場合は、変更確認画面が表示されます。[OK] を選択すると、認証情報の削除確認画面が表示されます。[いいえ] を選択すると、次回、認証情報を記憶するにしたとき、記憶されている認証情報が利用できます。

■ 記憶したすべての認証情報を削除する場合

1. [保存された認証情報を削除] を押します。
2. [認証情報の削除確認] 画面で [はい] を押します。



認証情報の記憶をクリアすると、すべてのユーザーは再び [記憶する] にチェックマークを付けるまで、Working Folder へのアクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。

5. [閉じる] を押します。
ログイン画面に戻ります。

Step7: ファイル名の定型文字列とスキャンの初期値の設定 (グループ C~E)

- ファイル名の定型文字列

複合機でスキャンした文書のファイル名に、よく使う文字列を設定します。

- スキャンの初期値

複合機ごとにスキャンの設定の初期値を設定します。

詳細は、お使いの複合機に添付された『ユーザーズガイド』を参照してください。また、『ユーザーガイド』の「複合機で操作する」内の「スキャンする」の手順3の1.にある注記も参照してください。

1. 「Step5: 結果の確認 (グループ A ~ E)」(P.12) の手順 1 から 2 まで実行します。

2. 次の操作をします。

1. 複合機で Working Folder にログインします。
2. キャビネット一覧からキャビネットを選択します。

3. 表示された画面の右上にある、工具の形をしたアイコンを押します。



FUJIFILM の機種および FUJI XEROX ApeosPort VII / FUJI XEROX DocuCentre VII 以降の機種の場合は、[管理メニュー] を押します。

- ファイル名の定型文字列を設定する場合

1. [ファイル名の定型文字列の設定] を押します。
2. 各ボタンに、表示したい文字列を 20 文字以内で入力します。

- スキャンの初期値を設定する場合

1. [スキャン初期値設定] を押します。
2. [サーバー設定を利用する] を [機械ごとに設定する] に変更します。
3. 各項目の初期値を設定します。

アンインストール／バージョンアップ (グループ A ～ B)

Working Folder 複合機連携設置ツールをアンインストール、またはバージョンアップする手順を説明します。

1. [HTTP - SSL/TLS 通信] が有効になっていない場合は、FUJI XEROX CentreWare Internet Services を使用して、有効にします。



設定方法は「インストール前の作業」(P.9) の手順 4 以降を参照してください。

2. お使いのコンピュータで、Working Folder 複合機連携設置ツールの exe ファイルをダブルクリックします。
3. [次へ] をクリックします。
4. Working Folder 複合機連携設置ツールをアンインストールまたはバージョンアップする機械の IPv4 の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
例：192.0.2.1
5. 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
6. アンインストールする場合は [削除]、バージョンアップする場合は [上書き] を選択し、[次へ] をクリックします。
7. 確認画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
8. [完了] をクリックします。
9. 複合機の電源を切って、再度入れます。
10. 手順 1 で [HTTP - SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、FUJI XEROX CentreWare Internet Services を使用して、無効に戻します。